

2 県立病院事業概況

平成25年度の事業の概要は次のとおりである。

(1) 診療状況

平成25年度に県立病院で診療を行った患者数は、入院が延べ 80,715 人で前年度より 45,691 人(36.1%)減少し、外来は延べ 104,918 人で前年度より 117,006 人(52.7%)減少している。

病院別に見ると、入院では南会津病院で増加し、矢吹病院、宮下病院で減少している。また、外来では南会津病院で増加し、矢吹病院、宮下病院で減少している。

なお、喜多方病院が平成24年度末、会津総合病院が平成25年5月で廃止し、大野病院については、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により閉鎖している。

次に、診療科別に見ると、入院では小児科で増加し、内科外5診療科で減少している。また、外来では小児科で増加し、内科外9診療科で減少している。

(2) 施設設備の整備

ア 会津医療センターの外構・植栽・道路関連工事を行った。

イ 耐震基本計画(宮下病院)、太陽光発電設備等整備工事設計(南会津病院)等の設計委託を行った。

ウ 医療事務システム(矢吹病院)、手術部門システム(会津総合病院)、全身用コンピュータ断層撮影装置(宮下病院)、デジタルX線TVシステム(南会津病院)等の医療機器の購入整備を行った。

(3) 収支状況

平成25年度における総収益は 6,779,588 千円で、前年度と比較して 4,969,375 千円(42.3%)減少している。一方、総費用は 7,435,422 千円で、前年度と比較して 5,286,578 千円(41.6%)減少している。この結果、差引純損失は 655,834 千円となり、前年度と比較して 317,203 千円(32.6%)減少している。

また、医業収益の 3,312,780 千円から医業費用の 6,649,147 千円を差し引いた医業損益は Δ 3,336,367 千円となり、損失額が前年度と比較して 1,343,127 千円(28.7%)減少している。この結果、総収益対総費用比率は 91.2%、医業収益対医業費用比率は 49.8%となっている。

主な費用について見ると、給与費は 3,979,345 千円で前年度と比較して 3,528,877 千円(47.0%)減少したが、これは喜多方病院・会津総合病院の廃止に伴う職員数の減などによるもので、医業収益に対する割合では 120.1%となり、前年度より 24.1 ポイント増加している。また、薬品費等の医療材料費については 630,624 千円で、喜多方病院・会津総合病院の廃止などにより、前年度と比較して 1,142,670 千円(64.4%)減少しており、医業収益に対する割合も 19.0%と前年度より 3.7 ポイント減少している。

累積欠損金は、前年度より 655,834 千円増加して 28,219,660 千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は 851.8%と前年度に比較して 499.5 ポイント増加している。なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入 3,216,696 千円、資本的収入 1,578,140 千円で合計 4,794,836 千円となっており、前年度と比較して 967,398 千円(16.8%)減少している。